

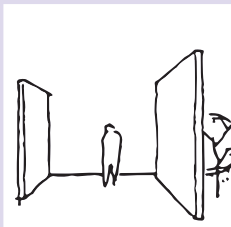
# 敷地を豊かにする

## 3-1. 建築物の配置を工夫する

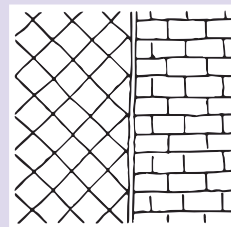
### 指針の解説

■ 建築物のまわりは、道路と建築物との接点であり、私的領域と公的領域が会う場所（＝敷際）でもあります。建築物の配置を工夫し豊かな敷際がデザインされる時、美しい景観が生まれます。

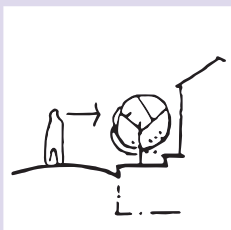
#### ■ 現 状



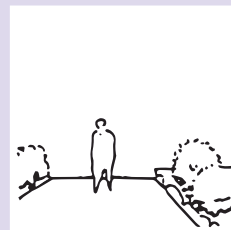
塀や壁で遮断された道はうるおいのない空間となりがちであり、塀の中の緑が見えない。



民有地と公有地の舗装等を協調させないと壁面後退などの効果が薄れる。



道路と建築物の間の緑はみんなの緑になる。



解放された敷際は心地の良いものとなっている。

### 景観形成の技法

#### ■ ゆとりとうるおいのある空地を生み出す建築物の配置に心がける

敷地の道路側に空地やアルコーブなどを生み出すような建築物の配置を心がける。

#### ■ 生み出された空地をデザインする

適切な建築物の配置によって生み出された空地を上手にデザインする。

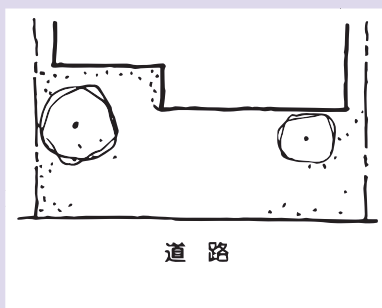
#### ■ 敷際を開放する

道路と建築物の間を開放し、敷地とまちなみの双方にゆとりをもたせる。

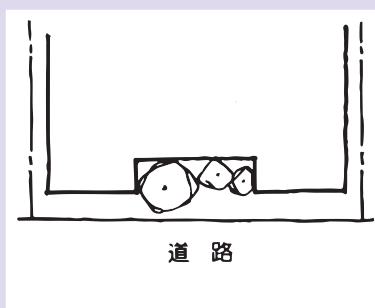
## 景観形成の技法例

### ■ ゆとりとうるおいのある空地を生み出す建築物の配置に心がける

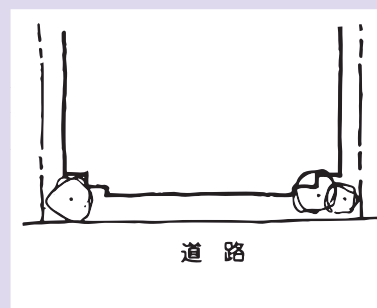
道路側に空地を配置する。



空地を大きくとれない場合は、アルコーブを設ける。

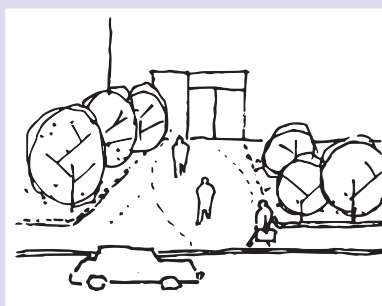


壁面をできるだけ道路境界から後退させて配置する。

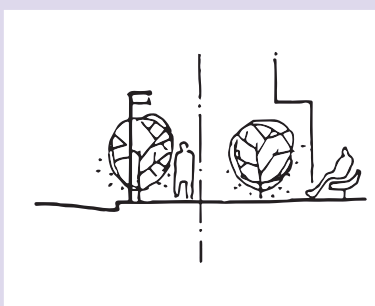


### ■ 生み出された空地をデザインする

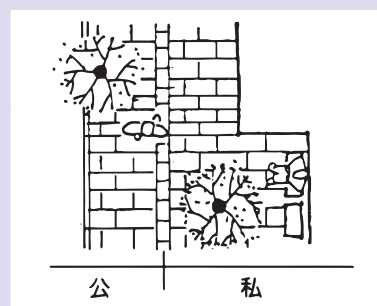
緑の活用により玄関アプローチを工夫する。



まちなかのスポットをつくる。

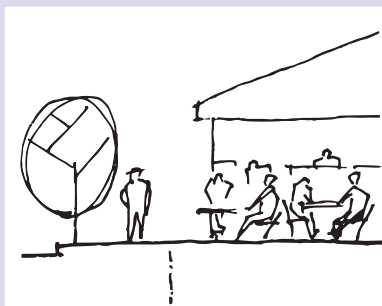


私と公の敷地で協調的なデザインをする。

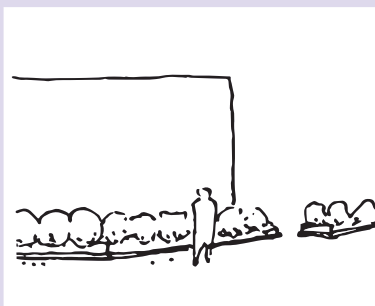


### ■ 敷際を開放する

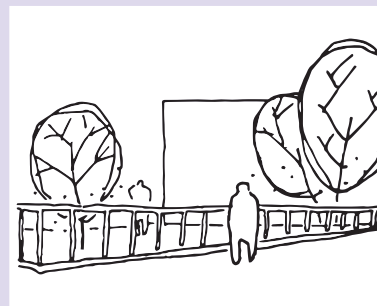
解放された敷際にレストスペース（休息空間）をしつらえ、通りにくつろぎの空間を提供する。



塀を設けず、道路際に植栽帯を生みだし、うるおいや開放感を演出する。



見通しの良い柵や塀を用いて開放感を生みだす。

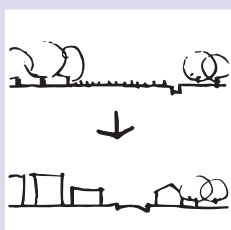


## 3-2. 緑によって建築物を引き立てる

### 指針の解説

■ 緑は都市に生活する人に、うるおいや季節感を与え、「都市のオアシス」をつくりだします。同時に緑は建築物の印象を高めるものであり、建築物を活かす緑の配置や緑を活かす建築物の計画が求められます。

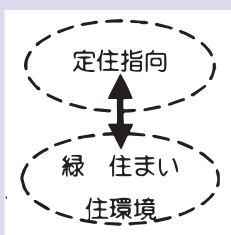
#### ■ 現 状



宅地化により樹林、田畑などの緑が減少している。



集落や社寺などでは大きな木や良好な樹林が残されている。



緑は良好な環境をつくりだし、定住指向と密接な関係がある。



豊かな植栽や生垣がうるおいのあるまちなみをつくっている。

### 景観形成の技法

#### ■ 緑と建築物を一体に計画する

道を行く人に豊かな緑を提供するように、既存の緑を活かすとともに、効果的に緑を配置する。

#### ■ 緑の量と建築物のスケールを考える

建築物のボリュームや高さに応じた緑の量を確保する。

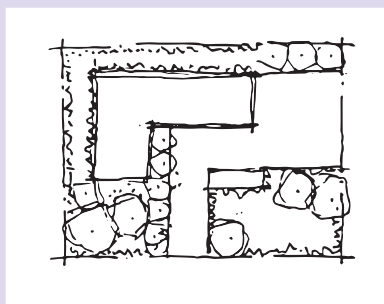
#### ■ 緑をつないで大きくみせる

敷地の道路側に緑を配置しながら、敷地の緑を互いにつなぎ、まちの緑として大きく見せる。

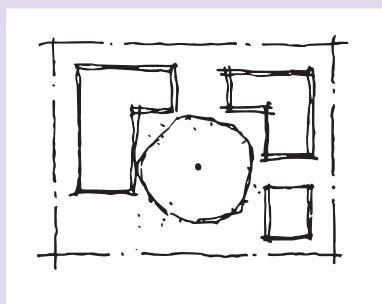
## 景観形成の技法例

### ■ 緑と建築物を一体に計画する

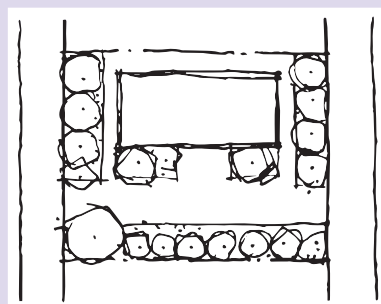
緑と建築物の計画を別々に考えない。



敷地内の大きな樹木を活かして計画する。

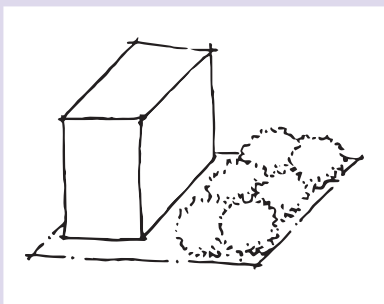


効果的に緑を配置し、道を行く人に豊かな緑を提供する。

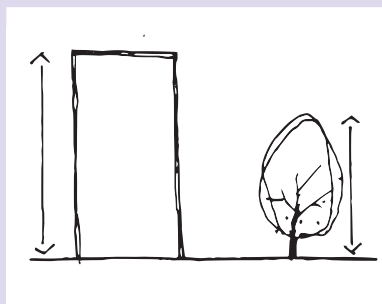


### ■ 緑の量と建築物のスケールを考える

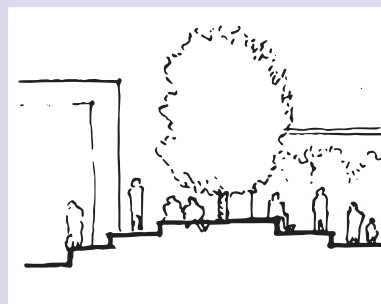
建築物のボリュームに応じた緑の量を確保する。



建築物の高さに応じた樹木の大きさを確保する。

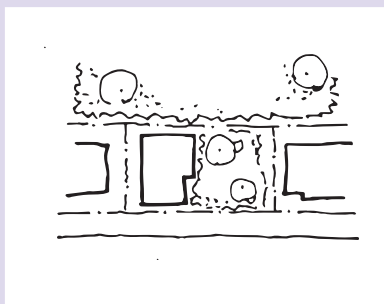


シンボルツリーで空間を演出する。

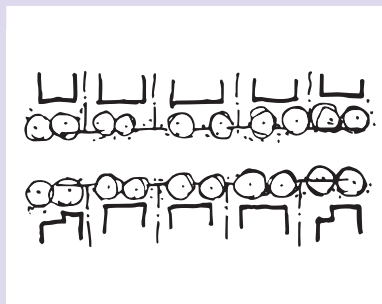


### ■ 緑をつないで大きくみせる

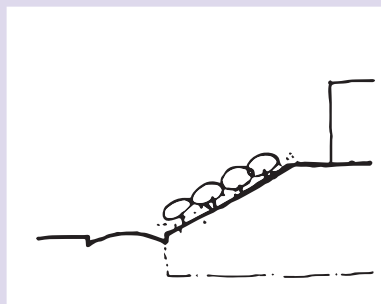
周辺の緑を引き込む。



生垣をつなげる。



法面敷地を緑化し連続させる。

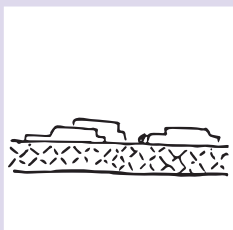


## 3-3. 屋外施設は美しくおさめる

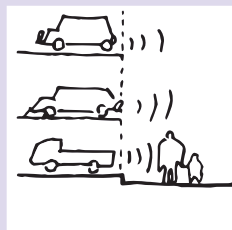
### 指針の解説

- 屋外施設の配置やデザインがおろそかになると、せっかくの建築物も見劣りがします。計画段階から屋外施設を美しくおさめる工夫が必要です。

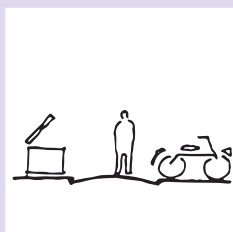
#### ■ 現 状



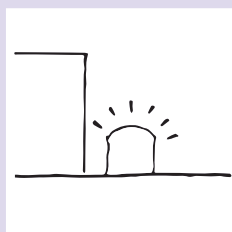
ネットフェンスだけで仕切られた駐車場は、寒々しい印象を与える。



道に面して立体駐車場を設けられると、歩行者にとって気持ちよくない。



ゴミ置場や駐車場が目につく。



受水槽などが目立ってしまう建築物やまちなみは良くない。

### 景観形成の技法

#### ■ 駐車場や自転車置場を美しくおさめる

駐車場や自転車置場は、まちなみに調和した塀や緑などで囲う。また、建築物と一体化させるなど、目立たないようにする。

#### ■ ゴミ置場や受水槽などを美しくおさめる

ゴミ置場、受水槽などは美しく配置・デザインする。

## 景観形成の技法例

### ■ 駐車場や自転車置場を美しくおさめる

駐車場は、まちなみに調和した塀や緑で囲う。



駐車場敷地のレベルを変えることによって、通りから目立たないようにする。



駐車場を建築物の背後に配置したり、建築物の中におさめる。



自転車置場もデザインや配置を工夫する。



### ■ ゴミ置場や受水槽などを美しくおさめる

ゴミ置場はデザインや配置を工夫する。



受水槽などの屋外施設は、周囲に合ったデザインで、目立たないようにする。

